

## 学校生活に 美術作品を

鶴尾小

スクサポスタッフが展示

高松市松並町の鶴尾小学校(田中義人校長)で14日、同校のスクールサポートスタッフが手がけた美術作品を紹介する「学校生活の中の美術作品展」が始まった。写真。新型コロナウイルス禍の中、児童や教職員



らを楽しませようと制作した立体作品をはじめ、読書活動の推進など児童へのメッセージを含めた絵画など約40点を展示している。15日まで。

作品展は、児童が校内の掲示物を通して日常的に美術に親しんでいる教育環境を地域住民らに広く知ってもらおうと、同校が初めて開催した。

会場の北館1階多目的洋室には、元教員で2020

年から同校のスクールサポートスタッフを務める植松幸子さん(63)が制作した絵画や布小物などがずらり。平安中期の僧侶・観賢ら地域の偉人を描いた作品をはじめ、熱中症予防のためにこまめな水分補給を呼びかける切り絵、伝統の「鶴尾太鼓」の演奏で躍動する児童の姿を表現したアクリル画などを紹介している。

季節ごとに玄関や職員室前の廊下を彩ってきた木の枝や実、布などで作った立体作品も並び、訪れた地域住民らは一つ一つの作品にじっくりと見入っていた。

展示は一般に公開しており、開催時間は午前10時から午後3時まで。玄関ホールには、1月に同校卒業生の町川邦彦さん(76)から寄贈された油彩画もある。